

ステップ アップ 『日進月歩』

努力することをやめない。
神様は、努力が好きなのです。

パリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

ゴルフ界の活性化

ゴルフ界を盛り上げるために、若手選手たちが動きだした。

日本ゴルフツアー機構（JGTO）での活動とは別に、「フューチャーGOLFツアー」というイベントを行うことが決まった。今季から日本ゴルフツアー機構（JGTO）副会長と同選手会長を兼務する石川遼選手を筆頭に、このイベントは、トーナメントが開催されていない地域で行うこと、若手で且つ、この趣旨に賛同するプロ選手が参加すること、さらに、可能な限り低予算での開催を目指すことなどを目標に掲げている。

この動きは、相撲の地方巡業と似ている。相撲の巡業とは、本場所が行われない地域に力士たちが出向き、勝敗が番付や給金には反映されないが、大相撲の醍醐味を本番さながらの舞台で、勝負し、観戦し、相撲を身近に感じ、親しんでもらうことを目的としている。そして、巡業には欠かせない、また大変人気のある「初切」を見ることが出来る。この「初切」とは、江戸時代から続く伝統あるもので、相撲の四十八手や、本来なら大相撲の中ではしてはいけない禁じ手をコミカルに、幕下以下の力士が面白く紹介するものである。これを見たくて巡業に参加する人も多いと聞いたことがある。

力士にとって、本場所が終われば休みみたいところ。しかし、この巡業が相撲の人気をひたひたとつくり、子供でも相撲を楽しめるきっかけとなっている。過去には、モンゴルやハワイでも巡業が行われた事があったようだ。

ゴルフも、底上げをするために、このような取り組みが必要になってきた。この大会を立ち上げた思いについて石川選手は、

「ゴルフ熱が高い地域があっても、そこでツアーが開催されていないという現状があるので、そういうゴルフを好きな方々と協力して、ゴルフ界を盛り上げられたらと思います」

「僕らが今考えているのは、未来“なんで、今、試合数が増えてほしいとかではなくて、やっぱり将来、子どもたちがゴルフをやりたいなって思ってくれるような、そういう試みができたらいい」と話している。

「初切」のようにここでしか見られないイベントを催して楽しんでもらえたり、子供たちが初めて、プロのゴルフ選手を見て、かっこいい！という憧れを抱いたり、ゴルフというスポーツを身近に感じてもらえる機会になることを願っている。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。